

千葉県立美術館アドバイザー会議 第1回



令和3年12月22日(水)

千葉県立美術館アドバイザー会議 第1回



1. 千葉県立美術館の概要

- 1-(1) 施設について
- 1-(2) 設置の経緯
- 1-(3) 運営の理念・方針

2. 千葉県立美術館の現状と課題

- 2-(1) 運営・組織体制について
- 2-(2) 展示について
- 2-(3) 収集・調査研究について
- 2-(4) 教育普及事業・連携事業について

1-(1) 施設について

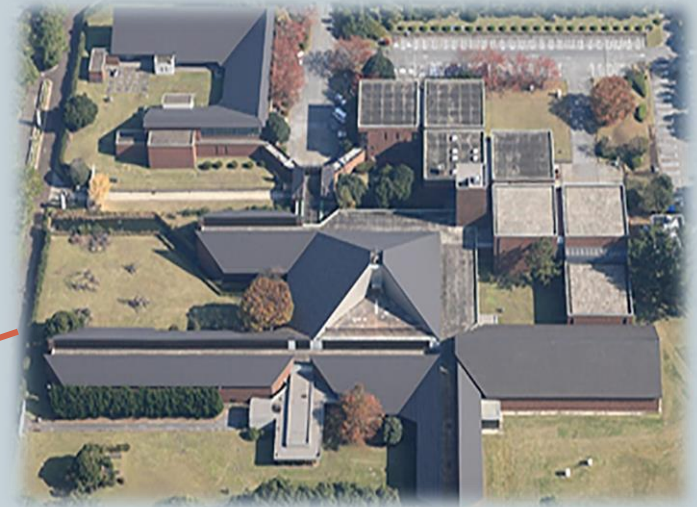
1. 千葉県立美術館の概要

～神奈川県立近代美術館鎌倉別館を手掛けた大高正人によるメタボリズム建築～

- JR京葉線 千葉みなと駅から徒歩約10分の場所に立地
- 千葉港に面した千葉ポートパークと隣接している



千葉県立美術館周辺地図



- 開館 昭和49(1974)年
- 建築家 大高正人
- 敷地面積 33,057.87㎡
- 建物延床面積 10,663.57㎡
- 展示室面積 4,296.30㎡
- 収蔵庫 771.50㎡
- 展示室 全8室

～千葉県美術会の強い要望のもと、県民芸術文化向上のために設置～



設置の目的

本県文化の伝統を正しく理解し、その基盤の上に新たな文化を創造していくために、郷土における先人の偉大な作品に直接触れる機会を与えると同時に、造形美術の創作ならびに鑑賞を通し、美術愛好の気風を醸成して県民芸術文化向上に寄与するため、常に芸術活動を行い、しかも本県独特な性格を持つ美術館を設置する。（千葉県立美術館設置構想から）

背景

千葉県美術会から「「県展」の開催場所として美術館の設置を」との強い要望

千葉県美術会 昭和24(1949)年に「県展」の開催団体として設立

～開館当時先駆的だった理念「みる、かたる、つくる」を軸に活動～

千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承し、

「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信する

- ・特別展・企画展の開催
- ・コレクション展の開催
- ・県内美術団体展



みる

- ・講演会の開催
- ・情報資料室の公開



かたる



つくる

- ・実技講座の開催
- ・展覧会にあわせたワークショップ等の開催

その他の運営方針

- ・ 県民のための美術館として、明るい親しまれる美術館
- ・ 学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館
- ・ 県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館
- ・ 房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係資料の収集・研究をめざす美術館

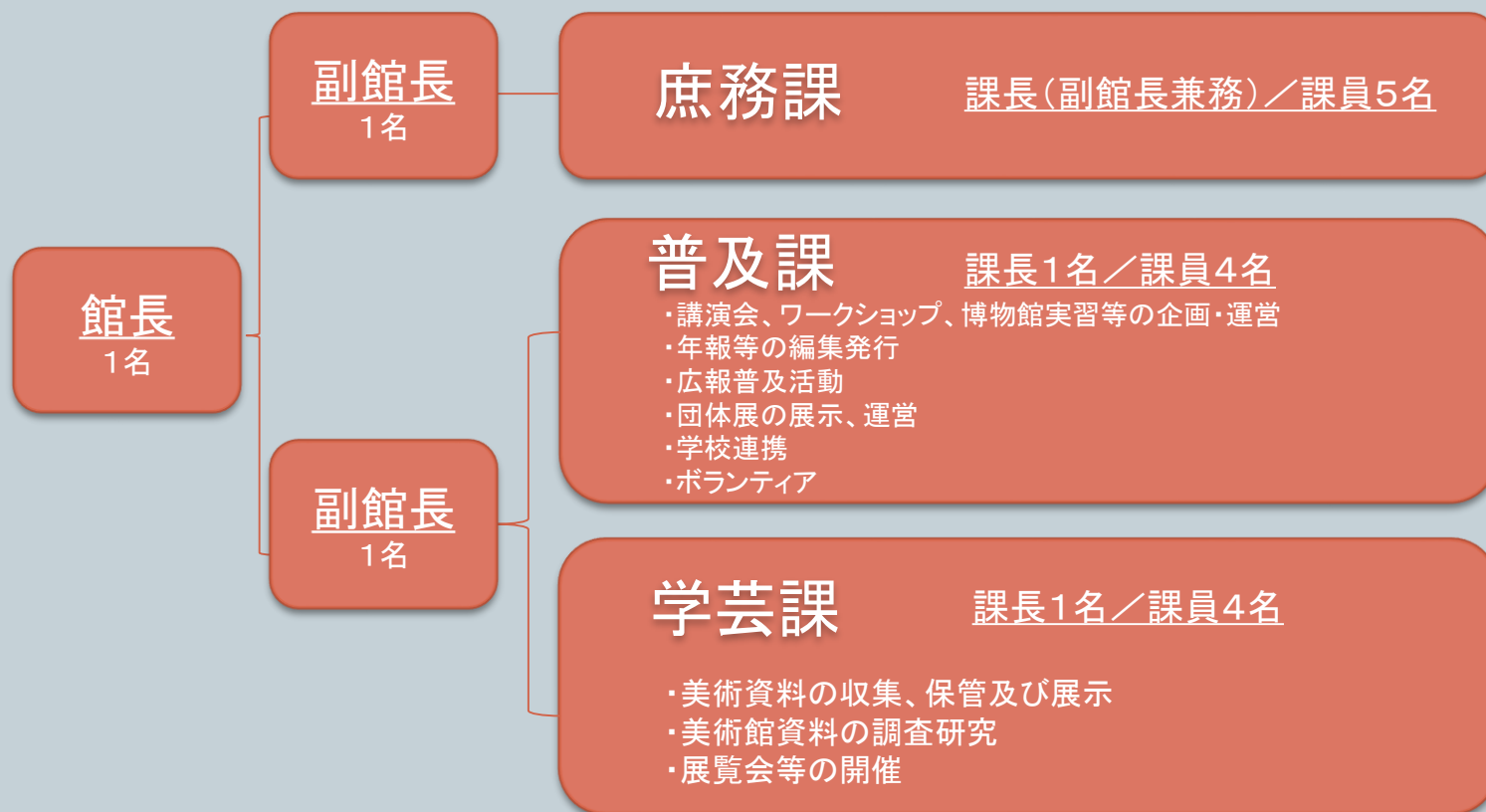
運営方針 平成24年度作成 美術館概要から

2-(1) 運営・組織体制について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～館長、副館長のもと、庶務課・普及課・学芸課の3課体制～

令和3年度現在の職員数 18名(うち再任用6名)



2-(2) 展示について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～千葉県ゆかりの作家を中心に展覧会を企画～



特別展 より広い視点から、千葉の芸術文化に資する展示を開催

- 平成29年度特別展「立体造形の現在・過去・未来—The フィギュア in チバ—」
2017年7月22日-9月24日(56日間) 10,913人
- 令和元年度特別展「絵のみち・祈りのころ—日本画家 後藤純男の全貌—」
2019年11月2日-2020年1月19日(61日間) 18,031人
- 令和2年度特別展「日本文化の華 大相撲展」
2021年1月16日-3月21日(55日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

企画展 主に千葉県ゆかりの作家の紹介

- 平成28年度企画展「メタルアートの巨人—津田信夫」
2016年10月25日-2017年1月15日(65日間) 6,270人
- 平成30年度企画展「中山忠彦—永遠の美を求めて—」
2018年11月3日-2019年1月20日(61日間) 8,829人



平成26年度以降は、特別展・企画展の

いずれかを年1回開催

※昭和50年代は年間3～5本の企画展・特別展を開催

2-(2) 展示について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～新たなミッションのひとつとして、若手作家の紹介を開始～



若手作家展 千葉県ゆかりの若手作家に作品発表の場・創作活動の場を提供し、県の美術的土壌を醸成

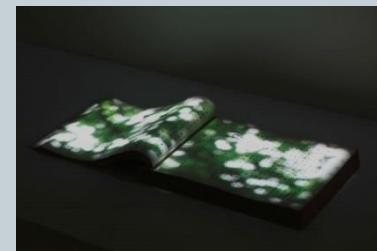
※令和元年度から本格的に開始

→若年層、ファミリー層などの来館数増加に効果

県立美術館の新たな使命として、若手作家支援策をより強く打ち出していく必要

令和元年度

- 「志村信裕 一残照」
2019年7月13日-9月23日(61日間) 7,666人
- 「Ch_AIR Chiba Prefectural Museum of Art: Artist in Residence」
2020年1月28日-3月1日(30日間) 2,822人



令和2年度

- 「魔法の手 ロッカクアヤコ作品展」
2020年10月31日-2021年1月11日(61日間) 8,096人



令和3年度

- 「100%ORANGE オレンジ・ジュース」
2021年7月13日-9月20日(61日間) 10,038人
- 「山本大貴 -Dignity of Realism-」
2022年1月25日-3月21日(48日間)

～収蔵作品を年間約10企画で紹介し、毎年県内文化施設で移動美術館を開催～

コレクション展 収蔵作品の紹介

令和元年度

第1期 2019年4月20日-7月7日(68日間) 7,131人

- ・「富取風堂－洗練の素朴－」
- ・「近代洋画の先駆者 浅井忠10－浅井忠の洋画－」
- ・「屏風になった作品たち－それぞれの物語－」

第2期 2019年7月13日-2019年9月23日(61日間) 7,666人

- ・「不思議の森美術館－美術の世界はとっても自由－」

第3期 2020年1月28日-3月1日(30日間) 2,822人

- ・「アート・コレクション+近代洋画の先駆者 浅井忠11－ト－ハクの名画がやってきた！－」
- ・「瑛久・嚶嘔・池田満寿夫」
- ・「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅳ」



**常設展示室がなく、会期毎にコレクション展を企画
→職員の負担が大きい**

移動美術館 県内各地で美術鑑賞の機会を提供し、地域の文化芸術を振興

- ・ 令和元年度 第43回千葉県移動美術館(八千代市) 2019年9月25日-10月6日(11日間) 1,440人
- ・ 令和2年度 第44回千葉県移動美術館(成田市) 2020年9月29日-10月11日(12日間) 823人
- ・ 令和3年度 第45回千葉県移動美術館(茂原市) 2021年9月11日-10月17日(37日間) 2,802人

展示会の実施回数

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
特別展	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
企画展	1	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1
コレクション展	21	21	18	12	0	2	18	11	10	9	7	7	11
若手作家展	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2
移動美術館	3	1	1	1	7	2	1	2	1	1	1	1	1

2-(2) 展示について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～県民に作品発表の場を提供し、毎年約80団体が利用～

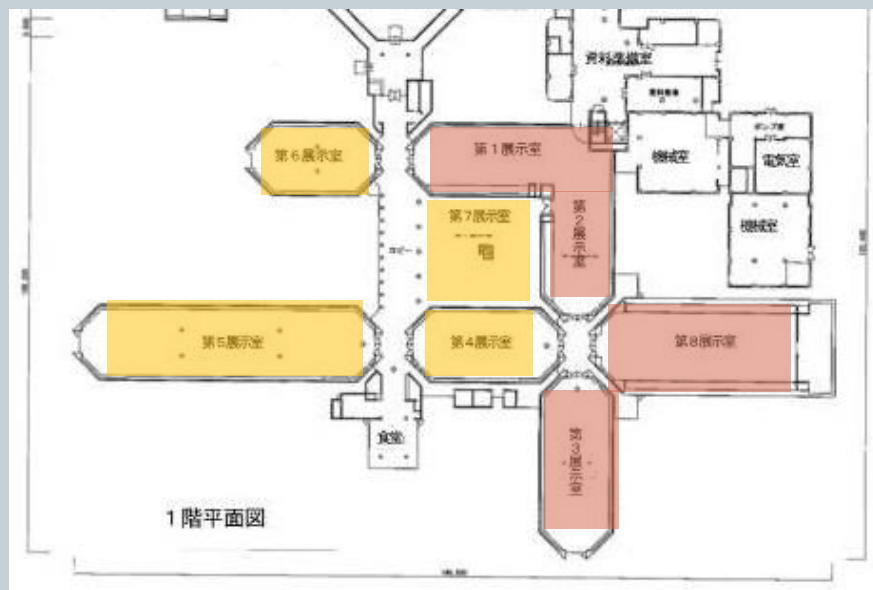
県展 毎年9～10月に全展示室を用いた県内最大の公募展

令和3年度

- 前期(日本画・彫刻・書道)
2021年9月25日-10月3日(9日間)
- 後期(洋画・工芸)
2021年10月7日-10月17日(10日間)

千葉県美術会と県の共催、館設立にも関係

団体展 毎年約80の美術団体に第4～7展示室を提供



- 第1～3・8展示室 特別展・企画展・コレクション展用
- 第4～7展示室 団体展用

2-(3) 収集・調査研究について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～浅井忠を中心に房総ゆかりの作家を収集～



収集方針

- 千葉県出身及びゆかりの物故・現存の作家
- 千葉県出身及びゆかりの物故・現存の作家と関連し、特に必要と認められる作家
- 千葉県をモチーフにした作品

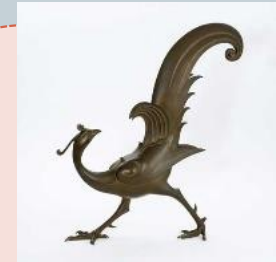


日本近代洋画の先駆者
浅井忠とバルビゾン派



現代作家

今後取り組みを強化する予定



日本近代金工史の先駆者
香取秀真と津田信夫



版画

水彩画



房総出身の作家



日本画

2-(3) 収集・調査研究について

2. 千葉県立美術館の現状と課題

～収集方針が見直されておらず、十分にコレクションを拡大できない～

- 開館当初から収集方針が見直されていない

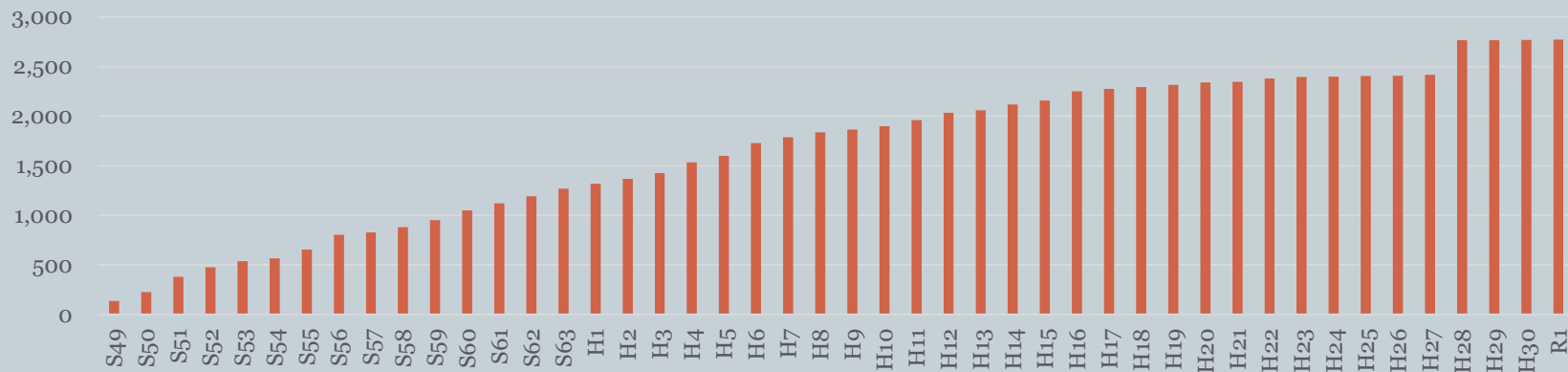
→時代の变化に合わせ、現代作品等の新しい分野の収集を検討

その他の問題点

- 資料購入予算がない
- 収蔵スペースが限界に達している

日本画	342
洋画	958
彫刻	143
工芸	770
書	287
版画	286
合計	2786
研究資料	1651

収蔵資料点数(令和3年10月31日時点)



収蔵作品数の推移

2-(4) 教育普及事業・連携事業について 2. 千葉県立美術館の現状と課題

～団体展の他、アトリエ棟を使用して講座やワークショップを開催～

【令和元年度の実施状況】

- 団体展 79団体 →団体展業務が他の業務を圧迫している
- 講演会 4回
- 実技講座 6講座
- ワークショップ 8回
- 出張授業 6回

※アトリエ棟稼働率は年間約60%

→アトリエ棟のさらなる活用について
検討が必要

■ 第4～7展示室	団体展用
■ アトリエ棟	講演会、実技講座、ワークショップ用
■ 第1～3・8展示室	特別展・企画展・コレクション展用

